



発行所
長野市大字栗田2142番地
長野県農業卸商業
協同組合
TEL.(026)228-5730
FAX.(026)228-5818
定価1部50円(税込)

令和5年度発表した病害虫

発生予察情報について

病害虫防除所 担当係長 北澤修司

令和5年度に発表した病害虫発生予察情報は、「予報」は6報、「月報」は8報、「注意報」は1報、特殊報は1報、地区報(地区注意報)は3報である(令和6年3月1日時点)。
本稿では、令和5年度に発表した予察情報の中からいくつかを紹介する。

【注意報】

○令和5年11月17日発表
注意報第1号 トマト黄化葉巻病(タバココナジラミバイオタイプQ)

令和4年9月に南信地域のトマト栽培施設で、トマト黄化葉巻病(トマト黄化葉巻ウイルス)と媒介虫のタバココナジラミ、バイオタイプQの発生が確認された。その後、周辺の複数のトマト栽培施設でも、同病害虫の発生が確認された。(図1・図2)



図1 タバココナジラミ(成虫)

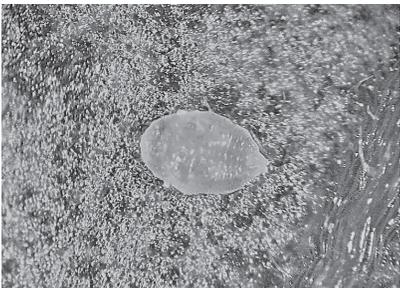


図2 タバココナジラミ(幼虫)



図3 葉の吸汁痕(白い斑点部分)



図4 成虫(頭頂部に黒点がある。)

ていことが多く、なお、国内における発生事例によると、本種は成虫で越冬する可能性があるとされているが、県内での越冬の状況は不明である。

【宿主植物と形態】
国内では、もも、すもも、うめ、あんず、おとうとう等のバラ科果樹を加害することが報告されている。また、海外ではりんご、なし等でも被害報告がある。

成虫の体長は3.5~5.5mmで、成虫の体色は黄緑色、複眼は黒く、頭頂部中央に特徴的な黒点がある(図4)。

【防除対策】

令和5年9月に、南信地域のもも及びうめのほ場で、葉にこれまでみられなかった吸汁痕が多数あり(図3)、葉裏には多数のヨコバイ類の寄生が確認され、本県では未発生栽培では越冬可能と考えられ、今後は南信地域以外でも発生する恐れがある。

【防除対策と留意点】
苗の導入に際して、病原ウイルスがフリーで、タバココナジラミの寄生がないものとすること。施設栽培では、出入口等の開口部に、0.4mm目合い程度の防虫ネットを張り、開放状態にしない。また、光反射マルチ資材等を設置し、媒介虫の施設内侵入を防ぐとともに、施設内外に黄色粘着板を黄色粘着テープを設置し、成虫の早期発見と捕殺を行う。施設周辺の雑草及び野生生えトマトは除去し、適切に処分する。

【病徴及び被害の様子】

成虫及び幼虫が葉面に寄生し、吸汁加害する。吸汁された部分は脱色するため、葉全体が吸汁されると白化する。被害が著しいと早期落葉することがあり、樹勢や収量への影響が懸念される。被害樹の葉裏に幼虫の脱皮痕が付着している。

【地区報】

令和5年度に発表した「地区報(地区注意報)」は次のとおりである。

- ・第1号(パセリ疫病)
- ・第2号(イネいもち病)
- ・第3号(タバココナジラミバイオタイプQ(トマト黄化葉巻ウイルス))

この中から、第1号(パセリ疫病)、第2号(イネいもち病)について紹介する。

【パセリ疫病】

この中から、第1号(パセリ疫病)、第2号(イネいもち病)について紹介する。

【イネいもち病】

この中から、第1号(パセリ疫病)、第2号(イネいもち病)について紹介する。

いる薬剤を使用する。

○令和5年7月21日発表
地区報(地区注意報)第2号
イネいもち病

病害虫防除所による7月下旬の定期巡回調査で、北信地域の一部のほ場で、葉いもちの発病率の急増がみられた。A.M.E.D.A.S(アメダス)データをを用いた葉いもち感染予測モデルBLASTAMでは、北信地域で6月から7月第3半旬は感染好適条件の出現が多かったことから、葉いもちの病勢が急激に進展することが予想された。また、その後も降水量が多い場合には、上位葉への進展、穂への感染や発病につながる可能性が高かった。

【防除対策及び留意点】

本病原菌は、パセリ、セルリのほか、ニンジン、ヤグルマギクに対しても病原性を示す。セルリ疫病の発生ほ場では、パセリ疫病が発生する恐れがある。

疫病は、排水不良畑など土壌の多湿条件により発病が助長されるので、耕盤破壊や畝(つね)を高くする等の排水対策を行う。本病は市販の検査キットで簡易診断できるので、早期発見・早期防除に努める。農薬を使用する場合には、本病に対して登録されている薬剤を使用する。

【お詫び】

県職員の新役職(4月1日付)については、聞き取り調査をしましたが、誤りがありましたらお詫び申し上げます。(信州の農業事務局)

顆粒で水に溶けやすい。

特長

- 1 たまねぎ・ねぎのネギアザミウマに効果があります。
- 2 ハモグリバエ類に安定した効果があります。
- 3 コナガ、アブラムシに速効性があります。
- 4 ナメクジ類を茎葉散布で同時防除できます。

シリーフガード 顆粒水和剤
Leaf guard ネライストキシン系殺虫剤
農林水産省登録 第22870号

日本化薬株式会社
東京都千代田区丸の内2-1-1 TEL.03-6731-5921
ホームページアドレス http://www.nipponkayaku.co.jp/

ダコニール 1000
「ダコニール」、「ダコニール1000」は株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

病害の予防・同時防除・
ダコニール1000が
コスト削減の第一歩!

70種類以上の作物、
およそ180種類の病害に登録
病害防除に役立つ情報を
写真とイラストで紹介

ダコニール倶楽部
Daconil Club

株式会社 エス・ディー・エス バイオテック

黒星病はもちろん、幅広い病気の予防に
ジマンダイセン 水和剤

雨に耐え、じっくり拡散! 製剤技術も自慢です。

- ①「付着力」が自慢!
- ②「耐雨性」が自慢!
- ③「拡散法」が自慢!

ジマンダイセン希釈液には高い表面張力があるため、付着した水滴は大きくなっても、こぼれ落ちにくくなります。

薬液が乾燥すると、製剤微粒子は幾重もの層になって固着。降雨があっても簡単に流れ落ちません。

固着した薬液上の製剤微粒子は、降雨があるたびに徐々に溶脱。作物全体に均一な薬剤保護層を形成します。

表面張力でしっかり付着 固着乾燥(重層化) 作物全体に拡がる

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ https://www.nissan-agro.net/
日産化学株式会社 お客様窓口 TEL.03-4463-8271(9:00~17:30 土日祝除く)

私たちの多彩さが、
この国の農業を
笑顔にします。

殺虫剤
ロビンフッド デリアナ フレオ スミチオン ダントツ
バタン アデオン エスマルク イカサチ ハクサップ

殺菌剤
スクレア ピカシオ ベネセット ベンレート フラジ
スミルカス リンパー ドリダッシュ スターナ

殺虫殺菌剤
スタウトバタン 箱王子 スタウトバディート スタウトダントツ

水稲用除草剤
セーザザカール マカセーザ フルセーザ ゴキモン オサキニ

〒104-8260 東京都中央区日本橋1丁目27番1号
お客様窓口 TEL.03-707-059-069
農業支援サイト・ホームページ https://www.houryoku.com

住友化学

新しく普及に移す見込みの農業技術

農業技術課 専門技術員 横澤志織

令和5年度第2回普及技術検討会において普及に移される見込みの課題のうち、植物防疫（病害虫防除）に関する技術について概略を紹介する。発刊の都合上、普及技術検討会で検討された情報に沿って記載している。また、表現や文言などは、今後変更される場合があるので留意いただきたい。詳細については、長野県農業関係試験場ホームページ（<https://www.agries-nagano.jp/>）に掲載されるので確認していただきたい。

【注 意】
 本稿に記載されている情報は、普及技術検討会への提案時（2024年2月19日現在）の農薬登録内容に沿っている。本稿掲載後の農薬登録変更等もあり得るので、農薬ラベル記載の適用登録をよく確認し、使用者の責任において適正に使用する。なお、紙面の都合により、各技術の利用上の留意点は記載を省略した。使用にあたっては、上記ホームページにおいて注意事項について必ず確認する。なお、農薬の使用にあたっては、蚕、ミツバチ、天敵等の有用生物や水産動植物への影響や人畜毒性、農作物の薬害等の注意事項も確認し、農薬の危被害防止に努める。また、病害虫の薬剤抵抗性発達を防ぐため、FRACコードやIRACコードを参考に作用機構分類の異なる薬剤をローテーションで使用する。

【試行技術】	
タイトル	技術内容（要約）
イネ稲こうじ病に対する土壌改良資材とモンガリット粒剤による被害軽減技術	転炉スラグの300kg/10aまたは生石灰の100kg/10aを春耕起～代かき前に土壌混和する処理と、モンガリット粒剤の3kg/10aを出穂期2～3週間前に湛水散布する処理を組み合わせることで、イネ稲こうじ病の発病が減少する。
【技術情報】	
タイトル	技術内容（要約）
コムギ赤かび病に対する県内主要品種の発病程度差	県内の小麦の主要品種はコムギ赤かび病に対する発病程度に品種間差が認められ、接種試験による相対的な比較において外部病徴による発病程度は「東山53号（ハナチカラ）」が高い。
水稻種子温湯処理が割れ粉の発芽に及ぼす影響	60℃ 15分の温湯処理では割れ粉の発芽率が低下し、割れ粉率が高い種子では発芽率が90%を下回る場合がある。
水稻品種の割れ粉率の品種間差とカスミカメムシ類による斑点米発生リスク評価	水稻品種のカスミカメムシ類による斑点米発生リスクを割れ粉の発生程度に基づいて評価し、「天竜乙女」をやや高い、「つきあかり」、「ひとめぼれ」、「金紋錦」及び「山恵錦」を中、「ひとごち」をやや低いとした。
スワルスキープラスを主体とした施設栽培かんきつ（レモン）のミカンハダニ防除	施設栽培かんきつ（レモン）においてミカンハダニの発生直前～発生初期に天敵製剤スワルスキープラスUMを4パック/樹の割合で設置することで、ミカンハダニ密度及び果実被害を低減できる。なお、スワルスキーカブリダニ放飼後はミカンハダニの発生状況に応じて、スワルスキーカブリダニに影響の少ない殺ダニ剤で防除する。
ネギ葉枯病防除に、概ね収穫1か月前～収穫直前の薬剤散布が有効である	概ね収穫1か月前～収穫直前の期間に重点的に薬剤散布することで、ネギ葉枯病を効果的に防除できる。

【農薬情報（殺菌剤）】			
対象作物	対象病害虫・雑草等	農薬名	技術内容（要約）
イネ	イネ稲こうじ病	ドイツボルドーA	イネ稲こうじ病防除にドイツボルドーAの2,000倍液を散布する。
トウモロコシ	すす紋病	チルト乳剤25、シグナムWDG、トリフミン水和剤	トウモロコシすす紋病防除にチルト乳剤25の1,000倍液、シグナムWDG、トリフミン水和剤の2,000倍液のいずれかを散布する。
クルミ	褐斑病	オーソサイド水和剤、ICボルドー66D	クルミ褐斑病防除にオーソサイド水和剤80の800倍液またはICボルドー66Dの50倍液を散布する。
キュウリ	炭疽病	ベルコートフロアブル	キュウリ炭疽病防除に、ベルコートフロアブルの2,000倍液を散布する。
キャベツ	黒斑病	アミスター20フロアブル	キャベツ黒斑病防除にアミスター20フロアブルの2,000倍液を散布する。

より効率的な総合防除に応える
 充実ラインナップ。



化学殺虫剤 オルトラン水和剤 オルトラン粒剤 トクチオン乳剤	微生物殺虫剤 ボタニガードES ジャックポット顆粒水和剤
化学殺菌剤 オーソサイド水和剤80 サルバトーレME	天敵殺虫剤 スワルスキー スパイカルEX スパイデックス アフィパール タイリク
化学除草剤 セレクト乳剤	受粉用マルハナバチ ナチュポール ナチュポール・ブラック
微生物殺菌剤 バイオキパー水和剤 ベジキパー水和剤	

Arysta LifeScience
 アリスタライフサイエンス株式会社
 〒104-6591 東京都中央区明石町8-1
<http://www.arystalifescience.jp>

MBC の機能性展着剤

高濡れ性展着剤 **ドライバー**
農林水産省登録第24222号

「散布した瞬間、安心感が違う！」

◎ぴたりと付着 ◎スッと濡れ広がる ◎汚れにくい
 ◎乾きが早い ◎殺菌剤との相性が良い

りんご産多数採用 **スカッシュ**
農林水産省登録第19164号

「ハダニ防除の安定感が違う！」

◎ハダニ、アブラムシ類、うどんこ病などの防除困難な病害虫に対し、殺虫剤・殺菌剤の薬効を安定させます

MBC 丸和バイオケミカル株式会社

白い守護神

耐雨性・残効性に優れた!

ICボルドー

66D・48Q・412

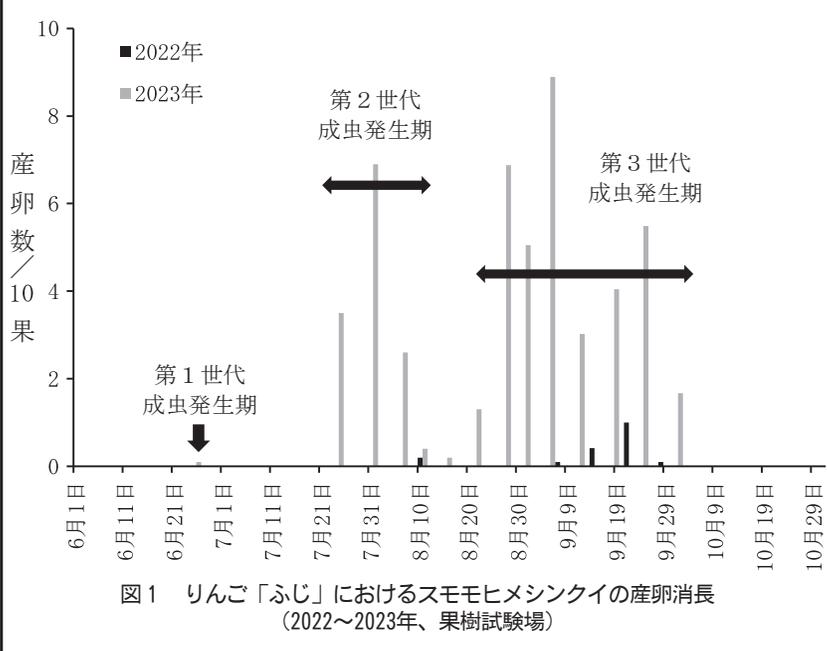
- JAS法有機栽培に適合!
- 果樹・野菜類の幅広い病害で登録取得!

井上石灰工業株式会社
 高知県南国市蛸が丘2-3-5 www.inoue-calcium.co.jp Tel: 088-855-9965

キャベツ	べと病	レーバスフロアブル	キャベツべと病防除にレーバスフロアブルの2,000倍液を散布する。
カリフラワー	黒すす病	アフエットフロアブル、シグナムWDG、ファンタジスタ顆粒水和剤	カリフラワー黒すす病防除にアフエットフロアブルの2,000倍液、シグナムWDGの1,500倍液又はファンタジスタ顆粒水和剤の3,000倍液を散布する。
レタス	コルキールート病	ダズメット粉粒剤（バスアミド微粒剤、ガスタード微粒剤）	レタスコルキールート病防除に、ダズメット粉粒剤（バスアミド微粒剤、ガスタード微粒剤）を30kg/10aの割合で定植前に全面散布し土壌混和する。

【農薬情報（殺虫剤）】

対象作物	対象病害虫・雑草等	農薬名	技術内容（要約）
かき	カイガラムシ類（クワシロカイガラムシ）	モベントフロアブル	かきのクワシロカイガラムシ防除に、モベントフロアブルの2,000倍液を散布する。かきのクワシロカイガラムシ第1世代に対するモベントフロアブルによる散布適期は、5月下旬～6月上旬である。
キュウリ	ハダニ類	フーモン	きゅうりのハダニ類防除にフーモンの1,000倍液を散布する。
キャベツ	コナガ、アザミウマ類	ファインセーブフロアブル	キャベツのコナガ防除にファインセーブフロアブルの1,000倍液を、アザミウマ類防除に2,000倍液を散布する。
ブロッコリー	コナガ	ファインセーブフロアブル	ブロッコリーのコナガ防除にファインセーブフロアブルの1,000倍液を散布する。
ブロッコリー	アザミウマ類	ファインセーブフロアブル、ベネビアOD	ブロッコリーのアザミウマ類防除にファインセーブフロアブルの1,000倍液、ベネビアODの2,000倍液を散布する。



近年のシンクイムシ類の発生状況と防除対策

近年、温暖化や殺虫剤の変遷、品種の多様化等によりシンクイムシ類の被害は微増傾向である。シンクイムシ類は多くの果樹品目で問題となり、果実を直接加害するため、収益に直結する。このため、被害を最小限に抑えることは栽培上、非常に重要となる。ここでは、県内で問題となるシンクイムシ類3種における近年の発生状況と防除対策について紹介する。

モモヒメシンクイ

モモヒメシンクイはリンゴをはじめ多くの果樹品目で古くより問題となっていた日本固有の害虫である。そのため、本種の生態については、当場でも1950年代頃から調査されてきた。本種の発生時期は防除と密接な関係があり、近年の温暖化と発生時期との関係を評価する必要があった。そこで、2019～2022

3年の直近5か年と約30年前の1982～1986年の5か年の越冬世代成虫の発生時期を比較したところ、初発は約2半月、最盛期は約3半月早まっていることが明らかとなった。また、産卵時期も同様に早まっている傾向で、必要があれば、6月中旬から防除を実施する。

スモモヒメシンクイ

本県において、スモモヒメシンクイの被害は、主にスモモ（日本スモモ・プルーン）で発生し、発生が多い場合はリンゴでも問題となる。本種は、スモモ園において年4回、5～9月頃に発生し、加害する。一方、リンゴ園での発生、加害時期については不明な点が多い。そこで、リンゴでの加害時期を把握するため、産卵消長を調査した。早生種「シナノリップ」及び「つがる」では、7月上旬まで産卵は認められ

ず、7月中旬～8月中旬の主に第2世代成虫発生時に産卵が認められた。中生種「シナノスイート」「シナノゴールド」「晩生種「ふじ」では、7月下旬～8月上旬の第2世代成虫発生期と、8月下旬～10月上旬の第3世代成虫発生時に産卵が認められ、第3世代で多い傾向であった（図1）。このことから、本種はリンゴにおいて主に7月中旬（第2世代成虫発生期）以降に産卵し、この時期以降から防除が必要になると考えられた。また、7月上旬（越冬第1世代）まで産卵は認められないことから、リンゴでは生活環を完了できないと考えられる。従って、本来の寄主であるスモモでの防除、密度抑制が重要になる。

ナシヒメシンクイ

ナシヒメシンクイは、リンゴ、ナシ、モモ等の果実に幼虫が食入する他、モモ・ウメ等の新梢先端に寄生し、芯折れ被害をもたらす。果樹試験場内のフェロモントラップの調査では、2022年頃から増加傾向である。近年は南信地域のナン産地の他、北信地域の一部モモ産地でも本種による加害が目立っている。

そこで、本種の加害時期を把握するため、果樹試験場内のモモ園において芯折れの発生時期を調査した。その結果、6月下旬までは認められず、7月上旬に第2世代幼虫による被害が認められた。また、7月末～8月上旬に第3世代幼虫による被害が認められ、当該世代による被害が最も多かった。その後、9月上旬に第4世代幼虫による被害が認められたが、新梢停止に伴い被害は減少した。芯折れ発生時期は、本種の防除時期を把握する一つの指標となる。食入防止のため、芯折れ発生時期よりやや早い時期に防除が必要となる。

殺ダニ剤として、きく/とうもろこしで 使用できるようになりました!

●果樹類のハダニ類対策に!
●きく/とうもろこしのハダニ類対策に!

野菜類のハダニ類、アブラムシ類、コナジラミ類、うどんこ病対策としてもご利用いただけます。

殺虫・殺ダニ剤（気門封鎖剤）殺菌剤・展着剤

フーモン

農林水産省登録 第23741号
 フーモンは日本化薬株式会社の登録商標です。

気門封鎖剤とは! 害虫の気門（空気の出入り口）をふさぐことで、窒息死させる薬剤です。

日本化薬株式会社
 東京都千代田区丸の内二丁目1番1号（明治安田生命ビル）
 TEL.03-6731-5321 FAX.050-3730-0682
 ホームページアドレス https://www.nipponkayaku.co.jp/agro/

モベント[®]フロアブル

優れた浸透移行性で やっかいな害虫も見逃さない!

ぶどう もも かき りんご なし おうとう

アザミウマ類 アブラムシ類
 カイガラムシ類 ニセナシバダニ

優れた浸透移行性を有し、散布後、新葉にも有効成分が行きわたることで長い残効を示します。

バイエル クロップサイエンス株式会社

いて、果実・新梢に幼虫が食入した後では殺虫剤の効果はない。そのため、防除は成虫発生後、幼虫の果実食入前までに行う。この内、特に幼虫がふ化する前の卵に直接薬剤がかかることが重要である。

シンクイムシ類に対して効果の高い薬剤は、有機リン・カーバメート剤、ネオニコチノイド剤、シアニド剤である。

卵から幼虫がふ化するまでの期間すなわち卵期間は、温度が高いと短くなる。このため、卵期間の短い夏季は、防除間隔を短くする対応が必要となる。（信州の農業事務局）

トピックス

24年産米の作付意向

農林水産省が3月5日公表した前年度実績との比較による各都道府県の主食用米の作付意向は、1月末時点では、減少傾向11県、前年並みは長野県を含む30県、増加傾向5県です。（信州の農業事務局）



OATアグリオ株式会社

平素は弊社製品を、ご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

弊社は農薬および肥料のメーカーであり多種多様な製品を取り扱っております。

紙面を頂きまして、その中から弊社のおすすめの農薬を紹介させていただきます。

○オリオン水和剤40

オリオン水和剤40は平成5年の登録から30年以上ご愛顧いただいているカーバメート系殺虫剤です。長野県内ではりんご、もも、なしなどの果樹で使用されています。特性はアブラムシ類、カイガラムシ類及びチヨウ目害虫など広範囲の害虫に有効で、接触毒及び食毒の作用があり、咀嚼性、吸汁性の両害虫に効果があります。果樹、野菜など広い作物に使用でき、合成ピ...

害虫のはなし

キンモンホソガ

キンモンホソガは、幼虫が葉に食入してマインを作り、葉肉を食害する害虫である。寄生が多いと果実の肥大や着色、味に影響が及ぶ。また秋には落葉が早まることがある。本種は長野県の平地では年5回発生する。越冬は落葉の中、蛹で行う。越冬世代成虫は4月上旬頃から発生し、4月中下旬頃が盛期となる。その後第1世代成虫は6月上旬、第2世代成虫は7月上旬、第3世代成虫は8月上旬、第4世代成虫は9月上旬以降に発生する。通常、発生量が多くなるのは、第2世代成虫以降である。キンモンホソガの1〜3齢幼虫には脚がなく、この時期を無脚幼虫期という。4〜5齢になると、...

レスロイド剤、有機リン剤とは作用性が異なり、これらの抵抗性害虫にも効果があり、ローテーション防除剤に適しております。

○アカリタッチ乳剤

主成分のプロピレングリコールモノ脂肪酸エステルは食品添加物として使用されているもので、容易に分解されるため環境にやさしい薬剤です。長野県内では果樹で使用されています。

特性としてダニに対して接

触型の物理的作用でダニの気門封鎖によって窒息死させます。効果は極めて速攻的で従来の殺ダニ剤との作用性の違いからダニに抵抗性発達の懸念が少なく、連続散布が可能となっております。各種ハダニ類(ミカン、ナミ、カンザワ)の幼虫、若虫、成虫に速攻的に作用し、殺卵効果はありませ...

使用上のポイント

は散布液が直接害虫にかからないと効果がでないため害虫にムラなく

かかるよう、葉の表裏へ丁寧に散布する必要があります。

また卵には効果がなく、残効性は期待できないため在中の増殖や圃場からの飛び込みが活発な時には5日〜10日間隔で連続2回散布や他剤とのローテーション散布を行うことが重要

です。

○ハチハチ乳剤、ハチハチフロアブル

ハチハチは難防除害虫に高い効果を示す園芸殺虫剤として、2002年に上市致しました。長野県内ではレタスをはじめ露地野菜で多く使用されています。浸透性がない薬剤なので、十分な散布液量でかけムラのないように散布してください。

○サファイア乳剤

有効成分は食用の植物油なので、安全性が高く、物理的に作用する殺虫剤です。トマト、いちごで多く使用されています。

既存の薬剤に対して抵抗性の発達したハダニ類およびコナジラミ類にも効果を発揮します。殺卵活性も認められ

ています。

1996年まで発生量は増減を繰り返しながら多かったが、その後発生が少なくなりました。そして、2007年頃から再び発生が多い年が多くなっています。

2020年には、北信地域でフェロモントラップ誘殺数、寄生葉率が平年より多く、8月上旬に地区注意報が発表された。

2021年には南信地域での発生が多かった。2023年の果樹試験場においては、第1〜第3世代の発生が多かったが、第4世代は少なかった。

キンモンホソガの防除は基本的に薬剤散布により行う。

食入した幼虫に対しては、薬剤の効果が劣るため、成虫発生初期に薬剤を散布し、食入防止を狙う。最も重要なポイント

は、第3世代幼虫の食入防止で、散布適期は第2世代

による呼吸阻害と考えられています。

殺虫スペクトラムが広く幅広い害虫種に効果を示し、特にアザミウマ類、ナモグリバエ、サレタニ類、キスジノミハムシ等の難防除害虫に卓効を示します。また種類によっては高い殺卵効果を有します。

またさび病、べと病、うどんこ病などに対して予防的に殺菌効果を発揮いたします。各作物の害虫および病気の発生初期に、体系防除の中の一剤として使用すると、一層効果的です。浸透性がない薬剤なので、十分な散布液量でかけムラのないように散布してください。

ハダニ類およびコナジラミ類の全発育ステージに対して有効です。天敵や有用昆虫に対する影響が小さく、IPM(総合的病害管理)に適しています。

適合する農薬です。

有効成分は食用の植物油なので、安全性が高く、収穫前日まで散布可能で有機農産物の日本農規格(有機JAS)に適合する農薬です。

などの防災対策や地球温暖化対策といった側面からも、単純に伐採とはいかなくなっている。

スギの花粉飛散量を抑制する取組みについて調べてみた。花粉がでない無花粉スギや雄花をほとんどつけない低花粉スギへの改植による対策が進められているが、苗木の大量供給がネックとなっている。

2014年には(国研)森林総合研究所等により、スギの雄花に特異的に寄生して枯死させるスギ黒点病菌を活用した対策が研究されているが、安全性を確保しつつ効果を最大限発揮するような処方、農薬登録とハードルは高い。最近では東京農業大学が食品添加物を利用してスギ雄花だけを褐変・枯死させる技術を開発し、昨年には栃木県で有人ヘリコプター散布による大規模実証試験が行われている。

国は30年後にはスギ・ヒノキによる花粉の発生量の半減を目指すとしている。新たな対策が実用化され、スギと共生する時代の到来に期待したい。

(ヤーマン)

ハダニ類およびコナジラミ類の全発育ステージに対して有効です。天敵や有用昆虫に対する影響が小さく、IPM(総合的病害管理)に適しています。適合する農薬です。

有効成分は食用の植物油なので、安全性が高く、収穫前日まで散布可能で有機農産物の日本農規格(有機JAS)に適合する農薬です。

ハダニ類およびコナジラミ類の全発育ステージに対して有効です。天敵や有用昆虫に対する影響が小さく、IPM(総合的病害管理)に適しています。適合する農薬です。

誘蛾灯

今年も花粉症の季節がやってきた。「自分は花粉症ではない」と頑なに信じているが、鼻水、目のかゆみといった症状からは疑う余地はないよう

だ。年々、発症の低年齢化が進み、国民の4割が花粉症と「国民病化」している。

春先の花粉症の原因となるのがスギ、ヒノキ。戦時中の乱伐で荒廃した森林を早急に回復させるため、高度経済成長期の木材需要を支えるために、日本固有種で成長の早い両品種の植栽が進んだという。まっすぐに育ち、軽くて材質は柔らかく加工しやすい特性を持ち、日本書紀にも「スギ、クスノキは舟に、ヒノキは宮殿に、マキは棺」と記されているように日本人にとって

は古くから親しみのある植物である。海外からの安価な輸入材の増加による国産材の需要減少、林業に携わる担い手の不足などから手人が行き届かず放置され、花粉を大量に放出する樹齢30年以上のスギが増加しているというわけだ。最近では水害や土砂崩れ

2019〜2023年に、各種薬剤のキンモンホソガに対する防除効果を検証した結果、一部の合成ピレスロイド剤の効果が低く、シアミド剤やIGR剤は残効が短かった。一方で、ネオニコチノイド剤(モスピラン顆粒水溶剤、バリアード顆粒水和剤)については、高い防除効果が確認された。これらを参考に、防除タイミングがずれないように防除を行っていただきたい。

(果樹試験場 養島萌子)

ハダニ類およびコナジラミ類の全発育ステージに対して有効です。天敵や有用昆虫に対する影響が小さく、IPM(総合的病害管理)に適しています。適合する農薬です。

有効成分は食用の植物油なので、安全性が高く、収穫前日まで散布可能で有機農産物の日本農規格(有機JAS)に適合する農薬です。

などの防災対策や地球温暖化対策といった側面からも、単純に伐採とはいかなくなっている。

スギの花粉飛散量を抑制する取組みについて調べてみた。花粉がでない無花粉スギや雄花をほとんどつけない低花粉スギへの改植による対策が進められているが、苗木の大量供給がネックとなっている。

2014年には(国研)森林総合研究所等により、スギの雄花に特異的に寄生して枯死させるスギ黒点病菌を活用した対策が研究されているが、安全性を確保しつつ効果を最大限発揮するような処方、農薬登録とハードルは高い。最近では東京農業大学が食品添加物を利用してスギ雄花だけを褐変・枯死させる技術を開発し、昨年には栃木県で有人ヘリコプター散布による大規模実証試験が行われている。

国は30年後にはスギ・ヒノキによる花粉の発生量の半減を目指すとしている。新たな対策が実用化され、スギと共生する時代の到来に期待したい。

(ヤーマン)

トピックス

23年度産米食味ランキング

日本穀物検定協会は2月29日、2023年度産米の食味ランキングを発表しました。同ランキングは、良質米作りの推進と米の消費拡大に役立てるため、昭和46年から始まり、今年が53回目でした。ランキング対象の144銘柄のうち、5段階で最高評価の「特A」の数は前年より3増の43銘柄でした。2番目の評

価の「A」は前年より13減の78銘柄、3番目の評価の「Aダッシュ」は前年より2増の23銘柄でした。猛暑の影響で、「特A」の43銘柄のうち25銘柄が高温暖性品種でした。

長野県内はすべてこしひかりの審査で、北信と東信が昨年の「A」から1ランク上げて「特A」に、南信は昨年と同じ「A」で、中信は1ランク下げ「A」から「Aダッシュ」でした。

(信州の農業事務局)

ハダニ類およびコナジラミ類の全発育ステージに対して有効です。天敵や有用昆虫に対する影響が小さく、IPM(総合的病害管理)に適しています。適合する農薬です。

有効成分は食用の植物油なので、安全性が高く、収穫前日まで散布可能で有機農産物の日本農規格(有機JAS)に適合する農薬です。

などの防災対策や地球温暖化対策といった側面からも、単純に伐採とはいかなくなっている。

スギの花粉飛散量を抑制する取組みについて調べてみた。花粉がでない無花粉スギや雄花をほとんどつけない低花粉スギへの改植による対策が進められているが、苗木の大量供給がネックとなっている。

ハダニ類およびコナジラミ類の全発育ステージに対して有効です。天敵や有用昆虫に対する影響が小さく、IPM(総合的病害管理)に適しています。適合する農薬です。

誘蛾灯

今年も花粉症の季節がやってきた。「自分は花粉症ではない」と頑なに信じているが、鼻水、目のかゆみといった症状からは疑う余地はないよう

だ。年々、発症の低年齢化が進み、国民の4割が花粉症と「国民病化」している。

春先の花粉症の原因となるのがスギ、ヒノキ。戦時中の乱伐で荒廃した森林を早急に回復させるため、高度経済成長期の木材需要を支えるために、日本固有種で成長の早い両品種の植栽が進んだという。まっすぐに育ち、軽くて材質は柔らかく加工しやすい特性を持ち、日本書紀にも「スギ、クスノキは舟に、ヒノキは宮殿に、マキは棺」と記されているように日本人にとって

は古くから親しみのある植物である。海外からの安価な輸入材の増加による国産材の需要減少、林業に携わる担い手の不足などから手人が行き届かず放置され、花粉を大量に放出する樹齢30年以上のスギが増加しているというわけだ。最近では水害や土砂崩れ

2019〜2023年に、各種薬剤のキンモンホソガに対する防除効果を検証した結果、一部の合成ピレスロイド剤の効果が低く、シアミド剤やIGR剤は残効が短かった。一方で、ネオニコチノイド剤(モスピラン顆粒水溶剤、バリアード顆粒水和剤)については、高い防除効果が確認された。これらを参考に、防除タイミングがずれないように防除を行っていただきたい。

(果樹試験場 養島萌子)

ハダニ類およびコナジラミ類の全発育ステージに対して有効です。天敵や有用昆虫に対する影響が小さく、IPM(総合的病害管理)に適しています。適合する農薬です。

有効成分は食用の植物油なので、安全性が高く、収穫前日まで散布可能で有機農産物の日本農規格(有機JAS)に適合する農薬です。

などの防災対策や地球温暖化対策といった側面からも、単純に伐採とはいかなくなっている。

スギの花粉飛散量を抑制する取組みについて調べてみた。花粉がでない無花粉スギや雄花をほとんどつけない低花粉スギへの改植による対策が進められているが、苗木の大量供給がネックとなっている。

2014年には(国研)森林総合研究所等により、スギの雄花に特異的に寄生して枯死させるスギ黒点病菌を活用した対策が研究されているが、安全性を確保しつつ効果を最大限発揮するような処方、農薬登録とハードルは高い。最近では東京農業大学が食品添加物を利用してスギ雄花だけを褐変・枯死させる技術を開発し、昨年には栃木県で有人ヘリコプター散布による大規模実証試験が行われている。

国は30年後にはスギ・ヒノキによる花粉の発生量の半減を目指すとしている。新たな対策が実用化され、スギと共生する時代の到来に期待したい。

(ヤーマン)

フロストバスター 凍害リスクを下げるコーヒー由来の天然抽出物が長野県の果樹を守ります！ 1 低温予報の前日に本剤を500倍に希釈して散布してください。 2 散布液が乾くまでの時間を確保するために夕方以降の散布は避けてください。 3 1製品あたり20aを目安に散布してください。 対象作物: りんご, なし, もも, おうとう, かき, その他果樹(花芽が霜害対象のもの)

どうもろこし畑の雑草防除に! ブルマックスフロアブル WEED KILLER 問題雑草の「イチビ」や「イヌホオズキ」にも優れた効果を示します。 ISK 石原バイオサイエンス株式会社 東京支店 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号 TEL 03-6256-9190 FAX 03-3237-0571

しぶといハダニはサラバでござる! ダニサラバフロアブル 虫にも病気にも効く新タイプの殺虫剤! ハチハチフロアブル カイガラムシ類・チヨウ目害虫防除に! オリオン水和剤40 パワフルフルーツ殺菌剤! オーシャイン水和剤フロアブル 新規系統のうどんこ病防除剤! ショウチンバスターフロアブル OATアグリオ株式会社